

## 第7回 八戸西スマートインターチェンジ地区協議会資料（概要版）

### 1. 供用開始（H31. 3. 23）から現在（R5. 8. 31）までの利用状況について

#### 【（1）八戸西スマート IC の概要と位置】

- ・八戸西スマート IC は、東北縦貫自動車道八戸線、八戸 JCT と八戸北 IC の間に設置され、平成 31 年 3 月 23 日に供用開始となった。
- ・ETC 搭載車両の通行を目的としたスマート IC となっており、供用開始により、IC の勢力圏域が広がり、八戸市西部地域だけではなく、隣接する五戸町においても利便性が向上し、通勤やレジャーなどに利用されている。

#### 【（2）平均出入交通量（1日あたり）と累計出入交通量】

- ・令和 4 年の 1 日あたりの平均出入交通量は 770 台となっており、計画交通量の 610 台を大幅に上回っている。また、令和 5 年は 8 月末までの平均出入交通量で 920 台となっており、年別では過去最高値を記録した。
- ・供用開始から令和 5 年 8 月末までの平均出入交通量も 700 台となり、新型コロナウイルス感染拡大等の影響による一時的な落ち込みはあったものの、計画交通量を上回る状況が続いている。
- ・平成 31 年と比べ、約 1.5 倍に増加しており、八戸西スマート IC の利便性が周知されてきていると思われる。
- ・累計交通量は約 113 万台となり、普通車・軽自動車が全体の約 9 割を占めている。

#### 【（3）曜日別出入交通量（全車種）】

- ・平成 31 年と比べ、全ての曜日において大幅に増加している。
- ・月曜から木曜までの平日よりも、金曜から日曜までの週末が多くなっていることから、観光やレジャーに利用されることが多いスマート IC であることが伺える。

#### 【（3）曜日別出入交通量（普通車・軽自動車）】

- ・平成 31 年、令和 4 年と比べても全ての曜日において増加しており、令和 4 年 11 月 27 日に全線開通した上北自動車道や、昨年 5 月の新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行が要因と想定される。

#### 【（3）曜日別出入交通量（中型車・大型車・特大車）】

- ・全ての曜日において微増の傾向が見られることから、八戸西スマート IC の利用が定着してきていることが想定される。
- ・休日よりも平日の方が高い傾向となっていることから、事業用・社用の利用が多いと考えられる。

#### 【(4) 月別出入交通量】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響もあるが、季節による大きな差異は確認できない状況であるため、今後も動向を注視していく。

#### 【(5) 前後 IC の出入交通量の変化】

- ・三陸沿岸道路や上北自動車道にアクセスできない八戸 IC は、令和 4 年と比較すると微増しているが、コロナ禍の落ち込みから回復できていない状況である。
- ・一方で、八戸北 IC、八戸西スマート IC 及び八戸是川 IC の交通量が増加したことで、前後 IC を含めた全体の交通量は増加しており、利用する IC に変化が見られる。

### 2. 利用促進方策の進捗状況について

#### 【(1) 広報誌で情報発信】

- ・広報はちのへに、八戸西スマート IC を起点とする周辺の観光スポットまでの所要時間やグルメ情報のほか、高規格道路の整備状況、利便性等についての記事を掲載。
- ・八戸港国際物流拠点化協議会が発行する八戸港だよりに、八戸西スマート IC や高規格道路の整備状況についての記事を掲載。
- ・今後も随時、利便性等についての記事を掲載する。

#### 【(2) 外部向け市長講演での PR】

- ・昨年 7 月、東京及び名古屋で開催した八戸セミナーで、八戸西スマート IC から令和 6 年度分譲開始予定の八戸北インター第 2 工業団地へのアクセスのしやすさや、八戸市の充実した高規格道路ネットワーク等を紹介。
- ・今後も定期的に実施予定。

#### 【(3) 八戸西スマート IC を活用した観光モデルコースの発信】

- ・八戸圏域の観光情報等を発信する DMO 観光地域づくり法人 VISIT はちのへのホームページで紹介している観光モデルコースに、八戸西スマート IC を利用する 2 つのコースを追加掲載。

#### 【(4) SNS・ホームページで情報発信】

- ・Facebook で八戸市道路建設課のアカウント「八戸市の道路」を作成し、八戸西スマート IC についての記事を掲載。
- ・八戸市のホームページに、地区協議会及び事務局会議の開催状況や会議の概要等についての記事を掲載。
- ・今後も随時、利用促進につながる記事を掲載予定。